

令和7年度 大里北小学校スタートカリキュラム(接続期カリキュラム)

★ 4月 小学校生活に慣れるとともに楽しさを知る。		★第2週 小学校は楽しいところだという気持ちを持たせる。				
		4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
		月	火	水	木	金
		4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日
登校	8:00 ～8:10	登校後～	登校後～	登校後～	登校後～	登校後～
健康 観察	8:15 ～ 8:30	【のんびりタイム】 ○自由遊び 好きな遊びを楽しむ ・おりがみ・お絵かき ・トランプ・あやとり ・けん玉・お手玉 ・チラシ	【のんびりタイム】 ○自由遊び 好きな遊びを楽しむ ・おりがみ・お絵かき ・トランプ・あやとり ・けん玉・お手玉 ・新聞紙	【のんびりタイム】 ○自由遊び 好きな遊びを楽しむ 【♥なかよしタイム】 ○集団遊び 教師と一緒にみんな で楽しむ。	【のんびりタイム】 ○自由遊び ○集団遊び	【のんびりタイム】 ○自由遊び ○集団遊び
準備	8:30 ～ 8:35		【♥なかよしタイム】 ○集団遊び(教師と 一緒にみんなであそ ぶ)歌、ゲーム、読み 聞かせなど、朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
一校時	8:35 ～ 9:20	【♥なかよしタイム】 ○集団遊び(教師と 一緒にみんなであそ ぶ)歌、ゲーム、読み 聞かせなど、朝の会 (音)どんなうたがあ るかな	【★わくわくタイム】 (生)じぶんたちで いってみよう ・各教室、職員室 校長室等の室内	【♥なかよしタイム】 (音)音楽に合わせて 歩こう、かもつれっ しゃ	【♥なかよしタイム】 (体)体ほぐしの運 動遊び 伸び伸びとした動 作で新聞やボー ル、なわを使って遊 ぶ	【★わくわくタイム】 (生)じぶんたちで いってみよう ※学校施設の位置と 特徴の把握、学校へ の興味関心を高める
二校時	9:30 ～ 10:15	【♥なかよしタイム】 (体)体ほぐしの運 動遊び 音楽「どんなうたが あるかな」を体を使 って表現しよう	【♫ぐんぐんタイム】 (算)算数セットで遊 ぼう	【★わくわくタイム】 (生)種を観察しよう 植えるのに、必要な ものは?	【★わくわくタイム】 (図)学校探検忍者 の服をつくろう ・カラービニールで衣 装づくり ・折り紙で手裏剣、は ちまきづくり ・その他、忍者にな って学校探検するた めに必要なものを 製作(案)	
三校時	10:30 ～ 11:15	【★わくわくタイム】 (生)がっこうのなか をあるこう(探検)	【♫ぐんぐんタイム】 (国)おはなしきき たいな	【♫ぐんぐんタイム】 (図)どどんかかくの はたのしいな(例:キ リン・いちご)		【♫ぐんぐんタイム】 (算)くらべたことが あるかな、おおいの はどちらかな
四校時	11:25 ～ 12:10	【♫ぐんぐんタイ ム】 (生)はるがきた、さ あはじめよう 【★わくわくタイ ム】	【★わくわくタイム】 (学)楽しい給食 ・給食の準備	【♫ぐんぐんタイ ム】 (国)どうぞよろしく ね 【★わくわくタイ ム】 (学)楽しい給食 ・給食の準備	【♫ぐんぐんタイ ム】 (国)なんていおうか な	【♫ぐんぐんタイ ム】 (国)かくことはたの しいな ・鉛筆の持ち方 ・字を書く姿勢
給食 ・ 清掃	12:30 ～ 13:15	給食の準備 12:00～12:15 給食12:15～12:50 片付け12:50～13:00 清掃13:00～13:15 13:20 下校	給食の準備 12:00～12:15 給食12:15～12:50 片付け12:50～13:00 清掃13:00～13:15 13:20 下校	給食の準備 12:00～12:15 給食12:15～12:50 片付け12:50～13:00 清掃13:00～13:15 13:20 下校	給食の準備 12:00～12:15 給食12:15～12:50 片付け12:50～13:00 清掃13:00～13:15 13:20 下校	給食の準備 12:00～12:15 給食12:15～12:50 片付け12:50～13:00 清掃13:00～13:15 13:20 下校
五校時	13:35 ～ 14:20					
帰 り の 会		○今日の楽しかったことを振り返らせ、明日も楽しみに登校することを確認する。 ○明日の準備や持ち物などをみんなで確認し合う。 ○安全な下校の仕方について話し合う。				
配 慮 点		○授業の始めに、関連した絵本の読み聞かせや歌、ゲームなどで児童の安心につなげる。 ○教師から進んで元気なあいさつをしたり、集団遊びなどに積極的に関わったりする中で、進んであいさつをしたり、話したりできるようにする。 ○どの学習においても、園での経験を生かしていけるよう、児童に尋ねたり、どうしていきたいか考えさせたりするなど、児童の声から広げていくようにする。 ○特別支援学級児童につきましては、本人や保護者の意向に沿いながら柔軟に対応して参ります。				